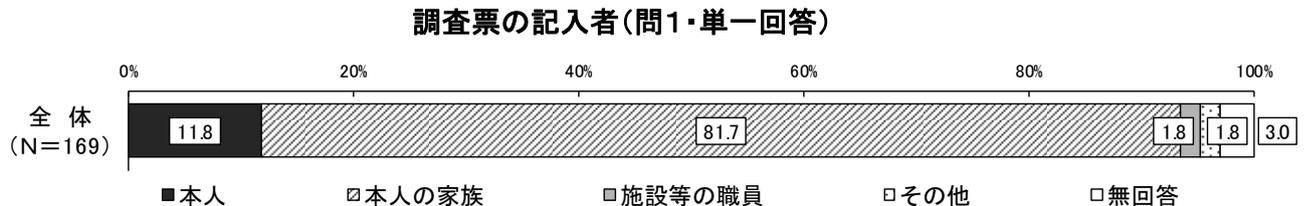


4 介護保険施設・居住系サービス利用者調査

(1) 基本属性

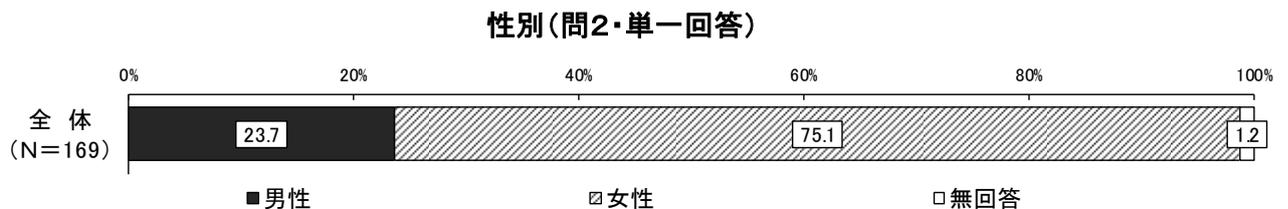
①調査票の記入者（問1・単一回答）

調査票の記入者は「本人」が11.8%、「本人の家族」が81.7%となっている。



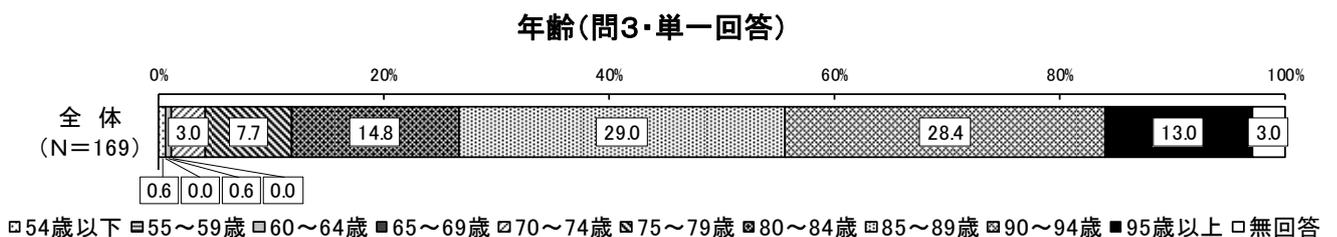
②性別（問2・単一回答）

性別は、「男性」が23.7%、「女性」が75.1%となっている。



③年齢（問3・単一回答）

年齢は、「85～89歳」（29.0%）が最も多く、「90～94歳」（28.4%）、「80～84歳」（14.8%）、「95歳以上」（13.0%）と続いている。



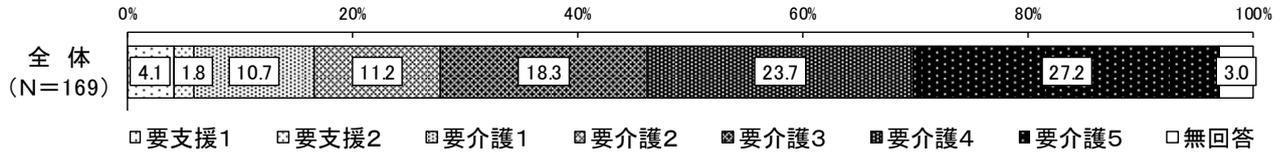
第2章 各調査の結果

4 介護保険施設・居住系サービス利用者調査

④現在の介護度（問4・単一回答）

現在の介護度は、「要介護5」（27.2%）が最も多く、「要介護4」（23.7%）、「要介護3」（18.3%）、「要介護2」（11.2%）と続いている。

現在の介護度(問4・単一回答)



施設別にみると、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」や「介護老人福祉施設（老人保健施設）」、「介護療養型医療施設又は介護医療院」で要介護度の高い人が多くなっている。

【施設別】現在の介護度(問4・単一回答)

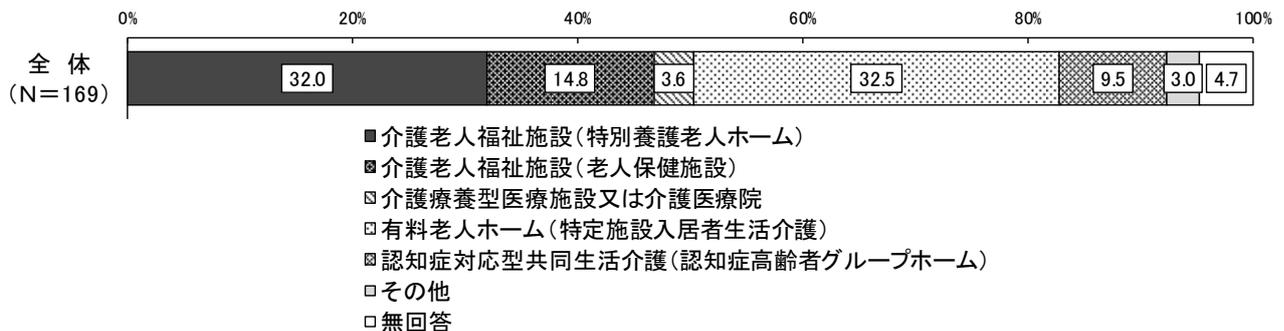
(%)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
全体 (N=169)	4.1	1.8	10.7	11.2	18.3	23.7	27.2	3.0
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) (N=54)	0.0	1.9	0.0	0.0	20.4	31.5	46.3	0.0
介護老人福祉施設 (老人保健施設) (N=25)	0.0	0.0	4.0	16.0	16.0	32.0	32.0	0.0
介護療養型医療施設 又は介護医療院 (N=6)	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	50.0	0.0
有料老人ホーム (特定施設入居者生活介護) (N=55)	9.1	1.8	23.6	18.2	18.2	16.4	12.7	0.0
認知症対応型共同生活介護 (認知症高齢者グループホーム) (N=16)	0.0	6.3	18.8	18.8	25.0	12.5	12.5	6.3
その他 (N=5)	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0
無回答 (N=8)	12.5	0.0	0.0	25.0	12.5	12.5	0.0	37.5

⑤施設の種類の種類（問5・単一回答）

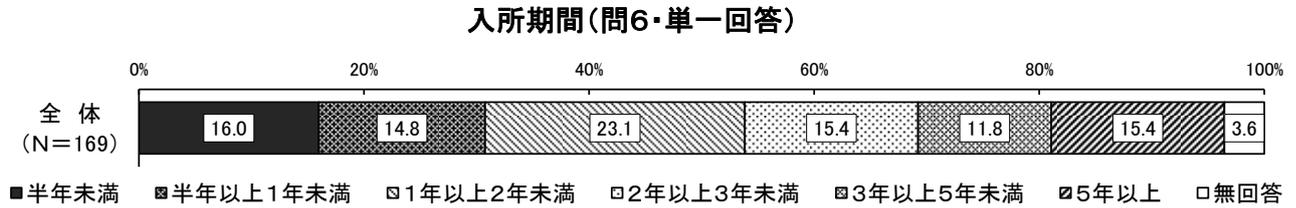
施設の種類の種類は、「有料老人ホーム（特定施設入居者生活介護）」（32.5%）が最も多く、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」（32.0%）、「介護老人福祉施設（老人保健施設）」（14.8%）と続いている。

施設の種類の種類(問5・単一回答)



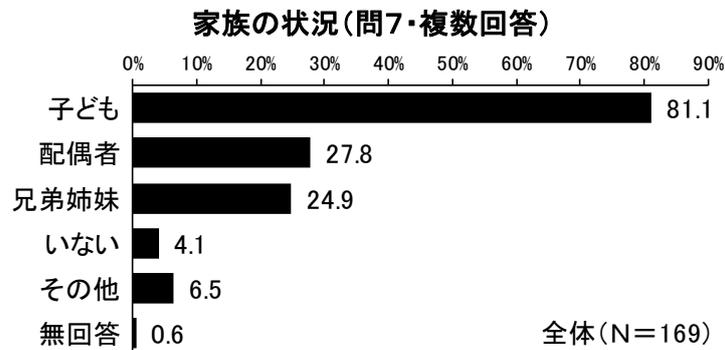
⑥入所期間（問6・単一回答）

入所期間は、「1年以上2年未満」（23.1%）が最も多く、「半年未満」（16.0%）、「2年以上3年未満」及び「5年以上」（ともに15.4%）と続いている。



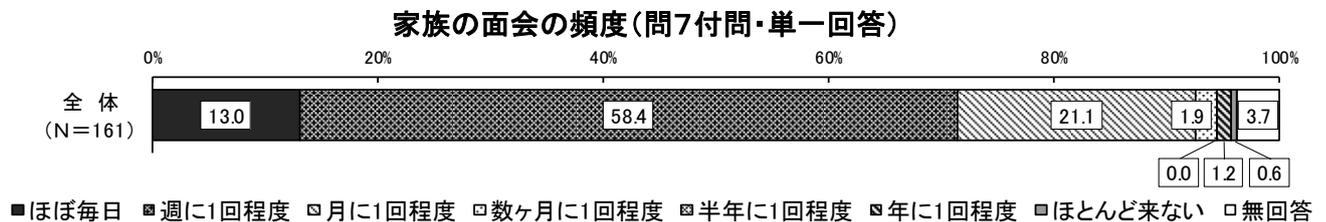
⑦家族の状況（問7・複数回答）

家族の状況は、家族がいる人（「子ども」「配偶者」「兄弟姉妹」「その他」と回答した人）が95.3%、いない人が4.1%で、家族がいる人の内訳は「子ども」（81.1%）が最も多く、「配偶者」（27.8%）、「兄弟姉妹」（24.9%）と続いている。



⑧家族の面会の頻度（問7付問・単一回答）

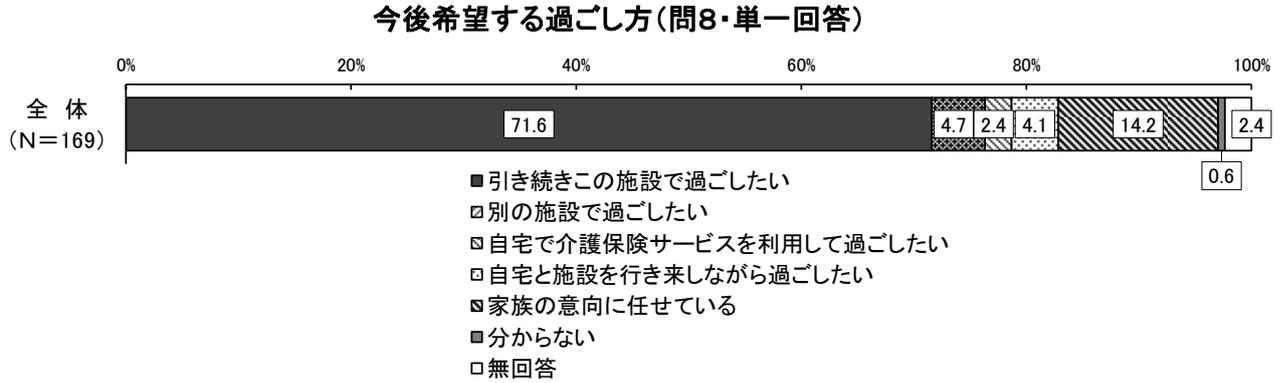
家族がいる人（問7で「子ども」「配偶者」「兄弟姉妹」「その他」と回答した人）に聞いた面会の頻度は、「週に1回程度」（58.4%）が最も多く、「月に1回程度」（21.1%）、「ほぼ毎日」（13.0%）、「数ヶ月に1回程度」（1.9%）と続いている。



(2) 住まい方の希望について

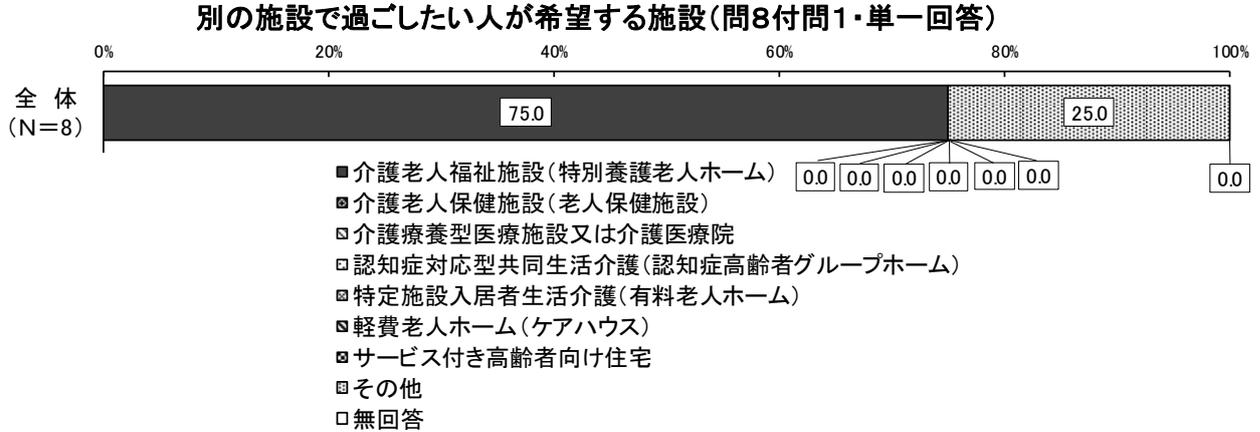
① 今後希望する過ごし方 (問8・単一回答)

今後希望する過ごし方は、「引き続きこの施設で過ごしたい」(71.6%)が最も多く、「家族の意向に任せている」(14.2%)、「別の施設で過ごしたい」(4.7%)、「自宅と施設を行き来しながら過ごしたい」(4.1%)と続いている。



② 別の施設で過ごしたい人が希望する施設 (問8付問1・単一回答)

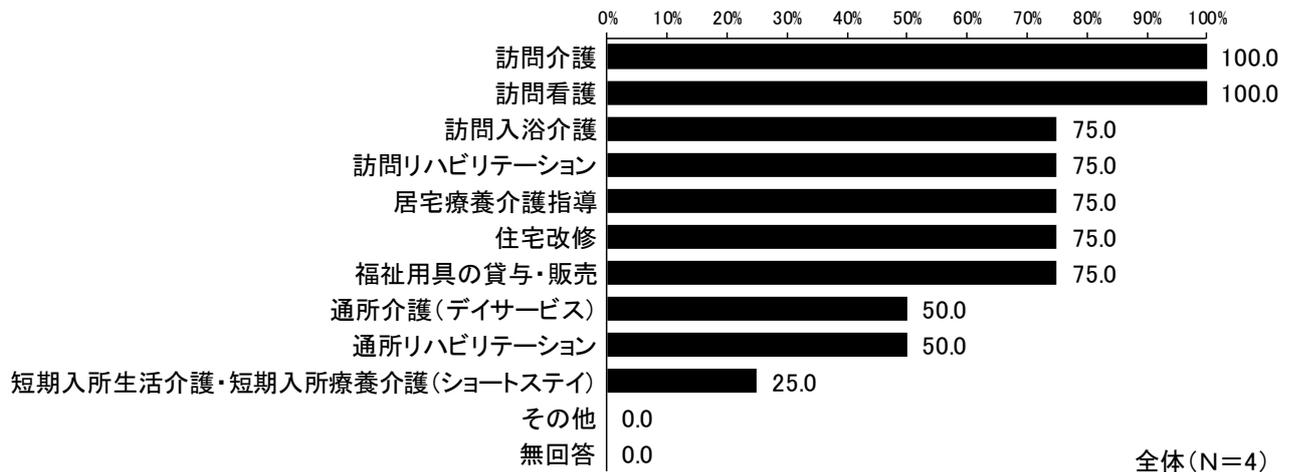
問8で「別の施設で過ごしたい」と回答した人が希望する施設は、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」が75.0%となっている。



③在宅希望者が利用したいサービス（問8付問2・複数回答）

問8で「自宅で介護保険サービスを利用して過ごしたい」と回答した人が利用したいサービスは、「訪問介護」及び「訪問看護」（ともに100.0%）が最も多く、次に「訪問入浴介護」「訪問リハビリテーション」「居宅療養介護指導」「住宅改修」「福祉用具の貸与・販売」（いずれも75.0%）と続いている。

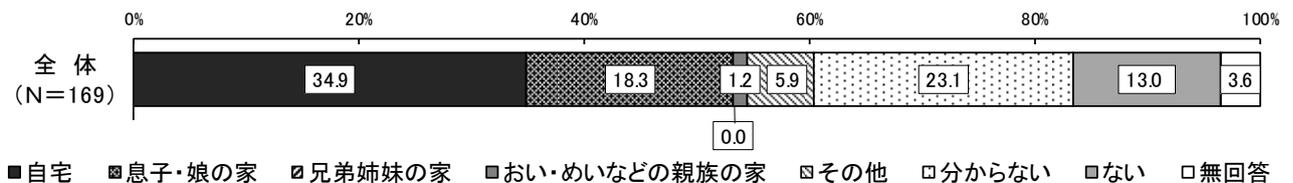
在宅希望者が利用したいサービス(問8付問2・複数回答)



④施設退所後の帰宅先（問9・単一回答）

施設を退所した場合の帰宅先は、「自宅」（34.9%）が最も多く、「息子・娘の家」（18.3%）、「おい・めいなどの親族の家」（1.2%）と続いている。また、「分からない」が23.1%、「ない」が13.0%となっている。

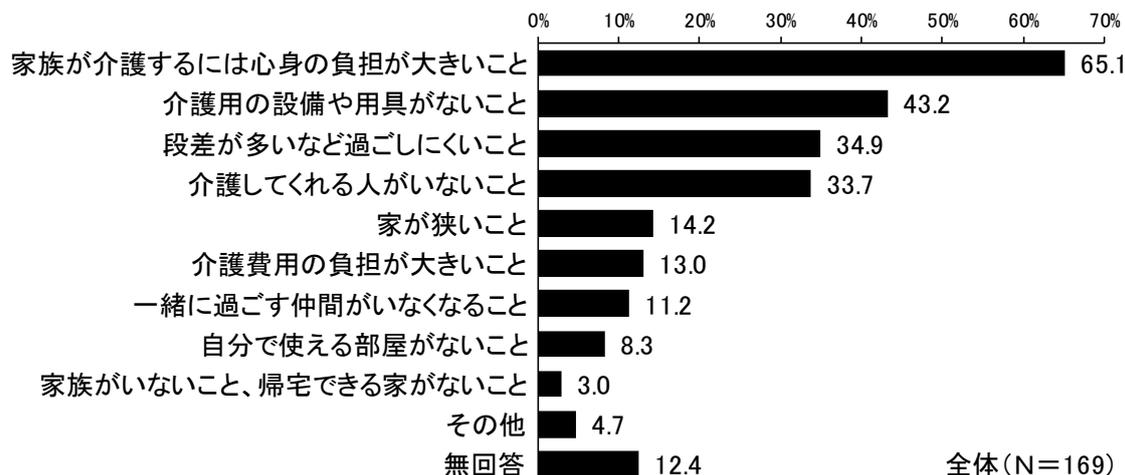
施設退所後の帰宅先(問9・単一回答)



⑤帰宅することで問題になること（問10・複数回答）

帰宅することで問題になることは、「家族が介護するには心身の負担が大きいこと」（65.1%）が最も多く、「介護用の設備や用具がないこと」（43.2%）、「段差が多いなど過ごしにくいこと」（34.9%）、「介護してくれる人がいないこと」（33.7%）と続いている。

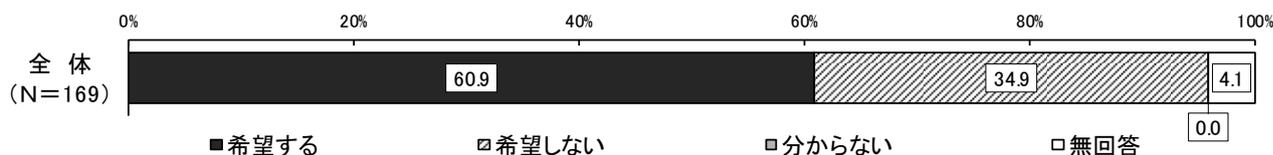
帰宅することで問題になること(問10・複数回答)



⑥現在の施設でのみとりの希望（問11・単一回答）

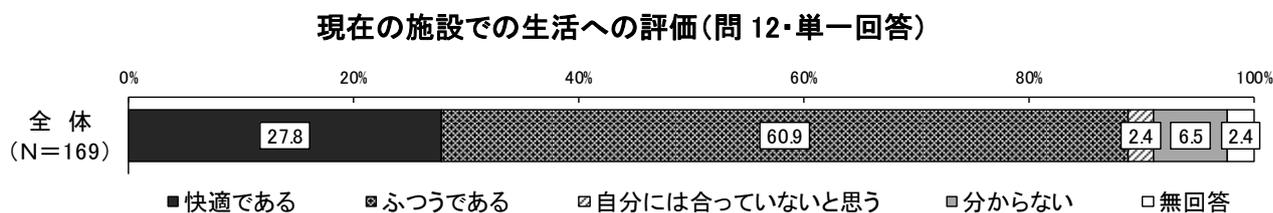
現在の施設でのみとりの希望は、「希望する」が60.9%、「希望しない」が34.9%となっている。

現在の施設でのみとりの希望(問11・単一回答)



⑦現在の施設での生活への評価（問12・単一回答）

現在の施設での生活への評価は、「ふつうである」（60.9%）が最も多く、「快適である」（27.8%）、「分からない」（6.5%）と続いている。



施設別では、いずれの施設も「ふつうである」が最も多くなっているが、「介護療養型医療施設又は介護医療院」では「分からない」もやや多くなっている。

【施設別】現在の施設での生活への評価(問12・単一回答) (%)

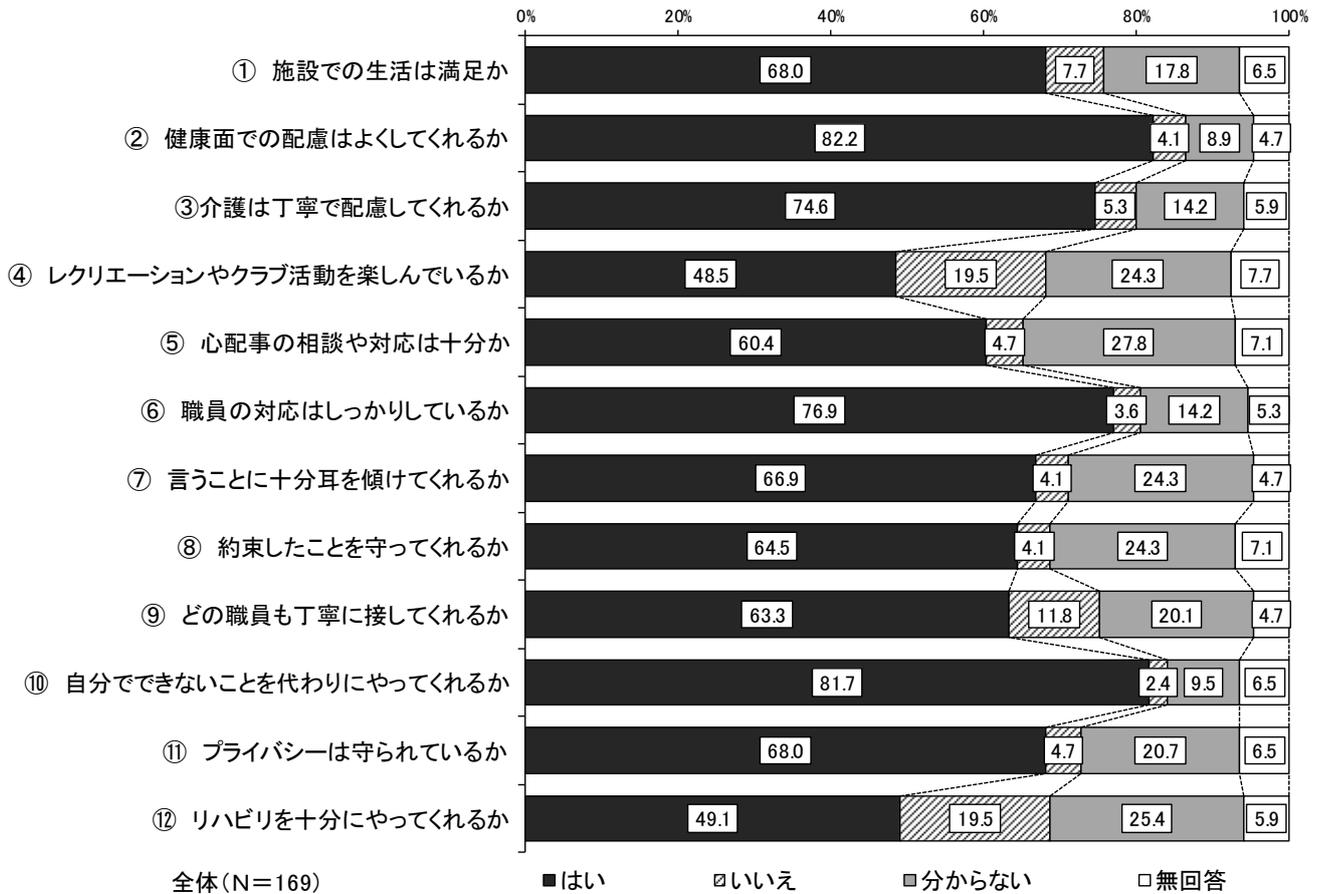
	快適である	ふつうである	自分には合っていないと思う	分からない	無回答
全体 (N=169)	27.8	60.9	2.4	6.5	2.4
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) (N=54)	22.2	68.5	3.7	5.6	0.0
介護老人福祉施設 (老人保健施設) (N=25)	40.0	52.0	0.0	8.0	0.0
介護療養型医療施設又は介護医療院 (N=6)	16.7	66.7	0.0	16.7	0.0
有料老人ホーム (特定施設入居者生活介護) (N=55)	25.5	63.6	3.6	5.5	1.8
認知症対応型共同生活介護 (認知症高齢者グループホーム) (N=16)	37.5	56.3	0.0	6.3	0.0
その他 (N=5)	20.0	60.0	0.0	0.0	20.0
無回答 (N=8)	37.5	25.0	0.0	12.5	25.0

⑧現在の施設での対応への評価（問13・項目ごとに単一回答）

現在の施設での対応への評価は、いずれの対応も「はい」が最も多くなっている。中でも満足度が高いのは、「②健康面での配慮はよくしてくれるか」（「はい」82.2%）、「⑩自分でできないことを代わりにやってくれるか」（「はい」81.7%）等となっている。

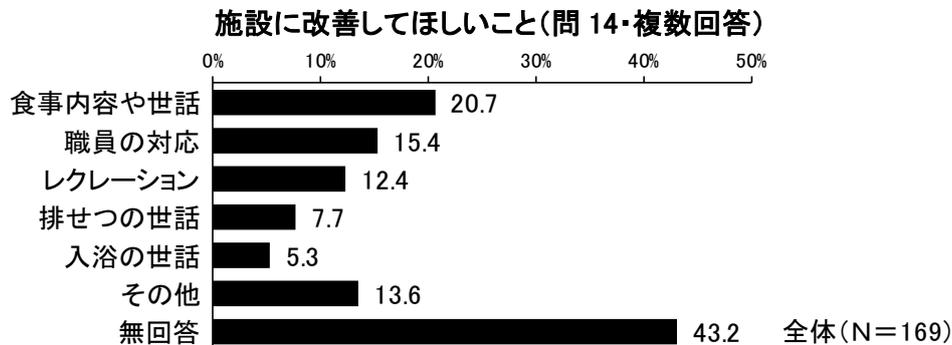
一方、満足度がやや低い（「いいえ」と回答した人がやや多い）のは「④レクリエーションやクラブ活動を楽しんでいるか」及び「⑫リハビリを十分にやってくれるか」（ともに「いいえ」が19.5%）等となっている。

現在の施設での対応への評価(問13・項目ごとに単一回答)



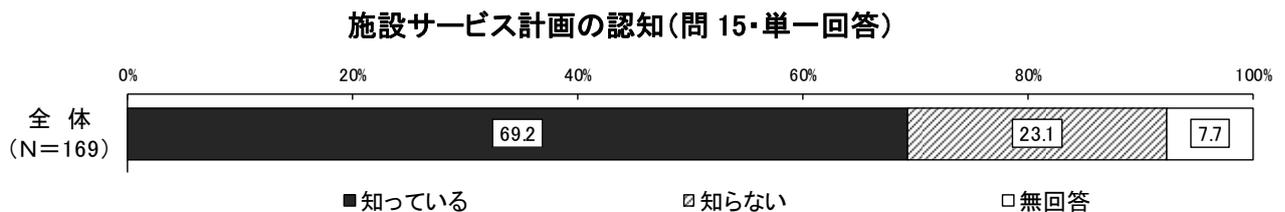
⑨施設に改善してほしいこと（問14・複数回答）

施設に改善してほしいことは、「食事内容や世話」（20.7%）が最も多く、「職員の対応」（15.4%）、「レクリエーション」（12.4%）、「排せつの世話」（7.7%）と続いている。



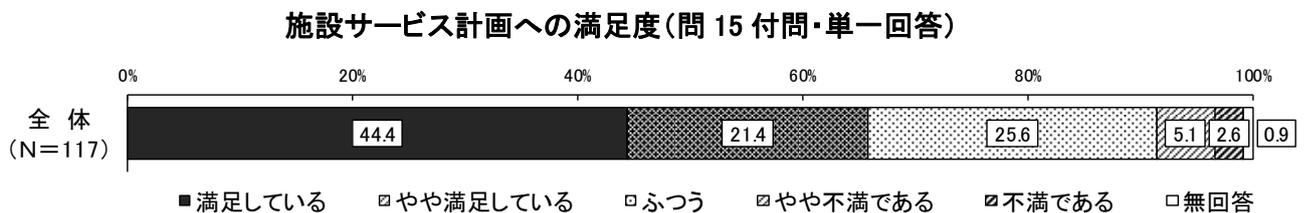
⑩施設サービス計画の認知（問15・単一回答）

施設サービス計画の認知は、「知っている」が69.2%、「知らない」が23.1%となっている。



⑪施設サービス計画への満足度（問15付問・単一回答）

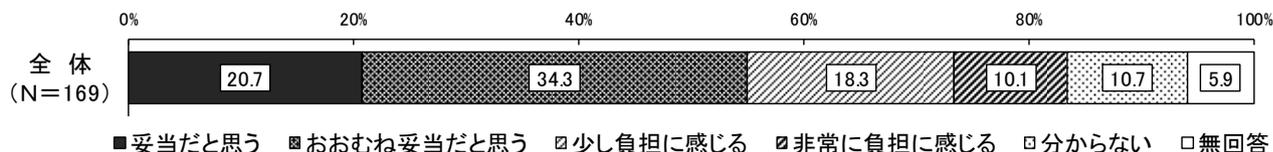
問15で施設サービス計画を「知っている」と回答した人の施設サービス計画への満足度は、「満足している」（44.4%）と「やや満足している」（21.4%）を合計した『満足』が65.8%、「やや不満である」（5.1%）と「不満である」（2.6%）を合計した『不満』が7.7%、「ふつう」が25.6%となっている。



⑫施設利用費の負担感（問16・単一回答）

施設利用費の負担感は、「妥当だと思う」（20.7%）と「おおむね妥当だと思う」（34.3%）を合計した『妥当だと思う』が55.0%、「少し負担を感じる」（18.3%）と「非常に負担を感じる」（10.1%）を合計した『負担を感じる』が28.4%、「分からない」が10.7%となっている。

施設利用費の負担感(問16・単一回答)



施設別にみると、「介護老人福祉施設（老人保健施設）」や「認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）」では「妥当だと思う」が他より特に多くなっている。一方、「認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）」では「非常に負担を感じる」もやや多くなっている。

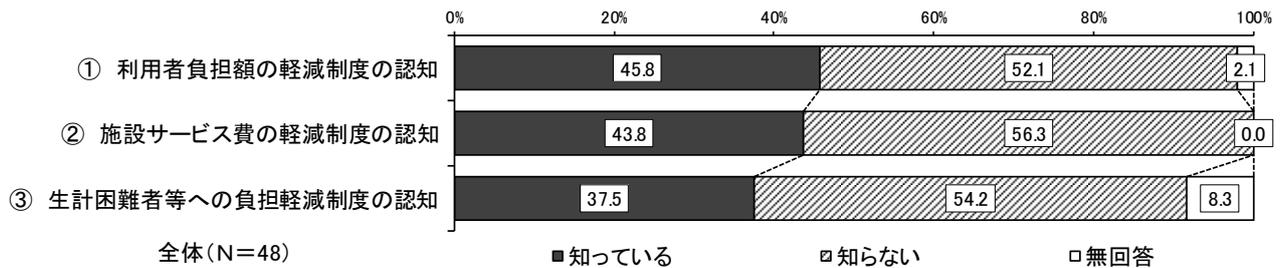
【施設別】施設利用費の負担感(問16・単一回答)

	思 妥 う 当 だ と	思 妥 お う 当 お だ む と ね	に 少 感 し じ 負 担	る 担 非 に 常 に 感 じ 負	い 分 か ら な	無 回 答
全体 (N=169)	20.7	34.3	18.3	10.1	10.7	5.9
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) (N=54)	22.2	38.9	13.0	7.4	16.7	1.9
介護老人福祉施設 (老人保健施設) (N=25)	36.0	28.0	12.0	12.0	12.0	0.0
介護療養型医療施設 又は介護医療院 (N=6)	16.7	33.3	33.3	0.0	0.0	16.7
有料老人ホーム (特定施設入居者生活介護) (N=55)	12.7	34.5	29.1	10.9	5.5	7.3
認知症対応型共同生活介護 (認知症高齢者グループホーム) (N=16)	31.3	31.3	12.5	18.8	6.3	0.0
その他 (N=5)	0.0	60.0	0.0	20.0	20.0	0.0
無回答 (N=8)	12.5	12.5	12.5	0.0	12.5	50.0

⑬利用者負担額の軽減制度の認知（問 16 付問・項目ごとに単一回答）

施設利用費を負担に感じている人（問 16 で「少し負担に感じる」「非常に負担に感じる」と回答した人）の利用者負担額の軽減制度の認知は、認知度が高いものから順に「①利用者負担額の軽減制度」（「知っている」が 45.8%）、「②施設サービス費の軽減制度」（同 43.8%）、「③生計困難者等への負担軽減制度」（同 37.5%）となっている。ただし、いずれの制度も「知らない」が過半数となっている。

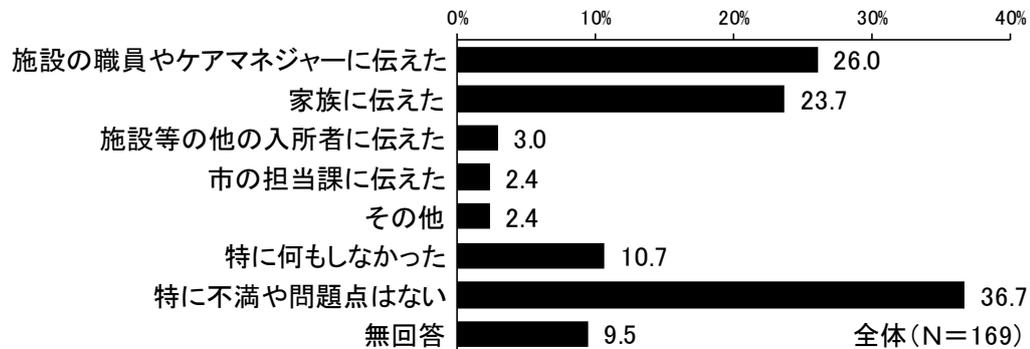
利用者負担額の軽減制度の認知(問 16 付問・項目ごとに単一回答)



⑭サービス利用への不満や問題点などの相談先（問 17・複数回答）

サービス利用への不満や問題点などの相談先は、「施設の職員やケアマネジャーに伝えた」（26.0%）が最も多く、「家族に伝えた」（23.7%）、「施設等の他の入所者に伝えた」（3.0%）、「市の担当課に伝えた」（2.4%）と続いている。

サービス利用への不満や問題点などの相談先(問 17・複数回答)

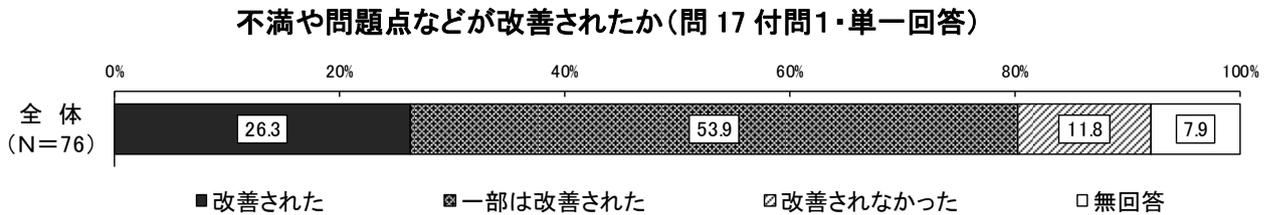


第2章 各調査の結果

4 介護保険施設・居住系サービス利用者調査

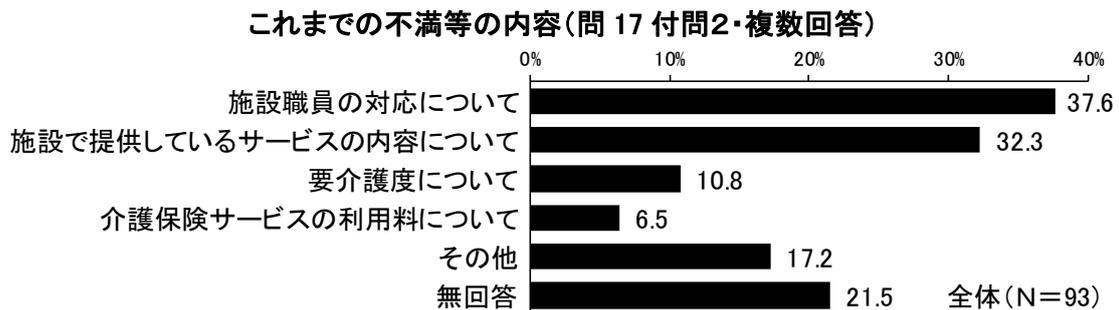
⑮不満や問題点などが改善されたか（問 17 付問 1・単一回答）

不満や問題点などを伝えた人（問 17 で「施設の職員やケアマネジャーに伝えた」「家族に伝えた」「施設等の他の入所者に伝えた」「市の担当課に伝えた」「その他」と回答した人）の伝えた結果として改善されたかは、「改善された」が 26.3%、「一部は改善された」が 53.9%、「改善されなかった」が 11.8%、「無回答」が 7.9%となっている。



⑯これまでの不満等の内容（問 17 付問 2・複数回答）

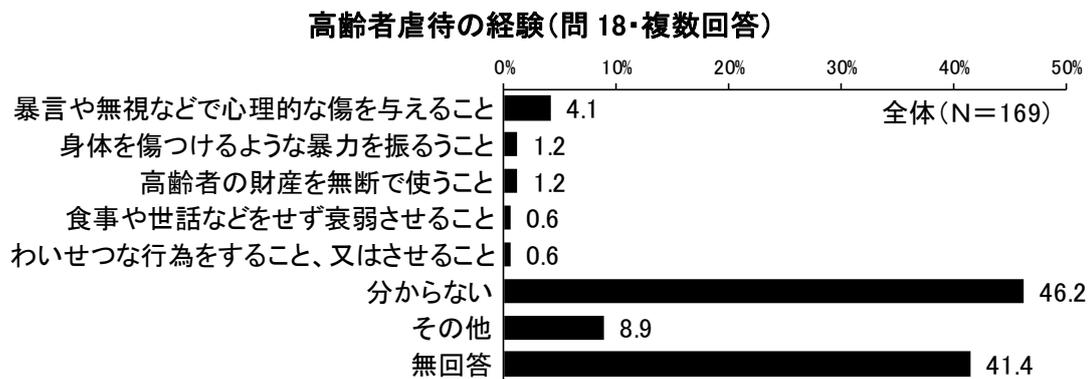
不満や問題点などを伝えた人（問 17 で「施設の職員やケアマネジャーに伝えた」「家族に伝えた」「施設等の他の入所者に伝えた」「市の担当課に伝えた」「その他」と回答した人）のこれまでの不満等の内容は、「施設職員の対応について」（37.6%）が最も多く、「施設で提供しているサービスの内容について」（32.3%）、「要介護度について」（10.8%）、「介護保険サービスの利用料について」（6.5%）と続いている。



(3) 高齢者虐待

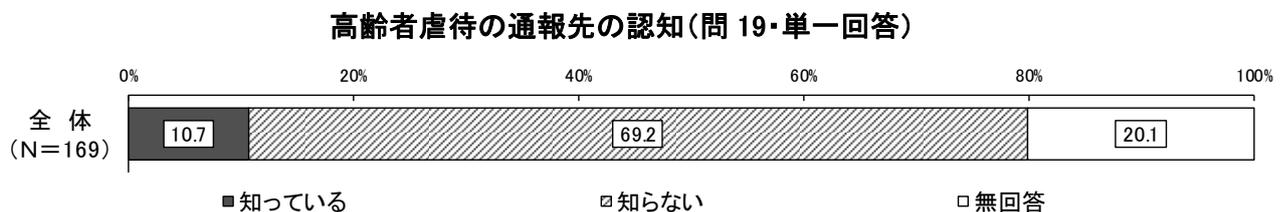
① 高齢者虐待の経験 (問 18・複数回答)

高齢者虐待を受けたり発見したりした経験の内容は、「暴言や無視などで心理的な傷を与えること」(4.1%)が最も多く、「身体を傷つけるような暴力を振るうこと」及び「高齢者の財産を無断で使うこと」(ともに1.2%)、「食事や世話などをせず衰弱させること」及び「わいせつな行為をすること、又はさせること」(ともに0.6%)と続いている。



② 高齢者虐待の通報先の認知 (問 19・単一回答)

高齢者虐待の通報先の認知は、「知っている」が10.7%、「知らない」が69.2%となっている。



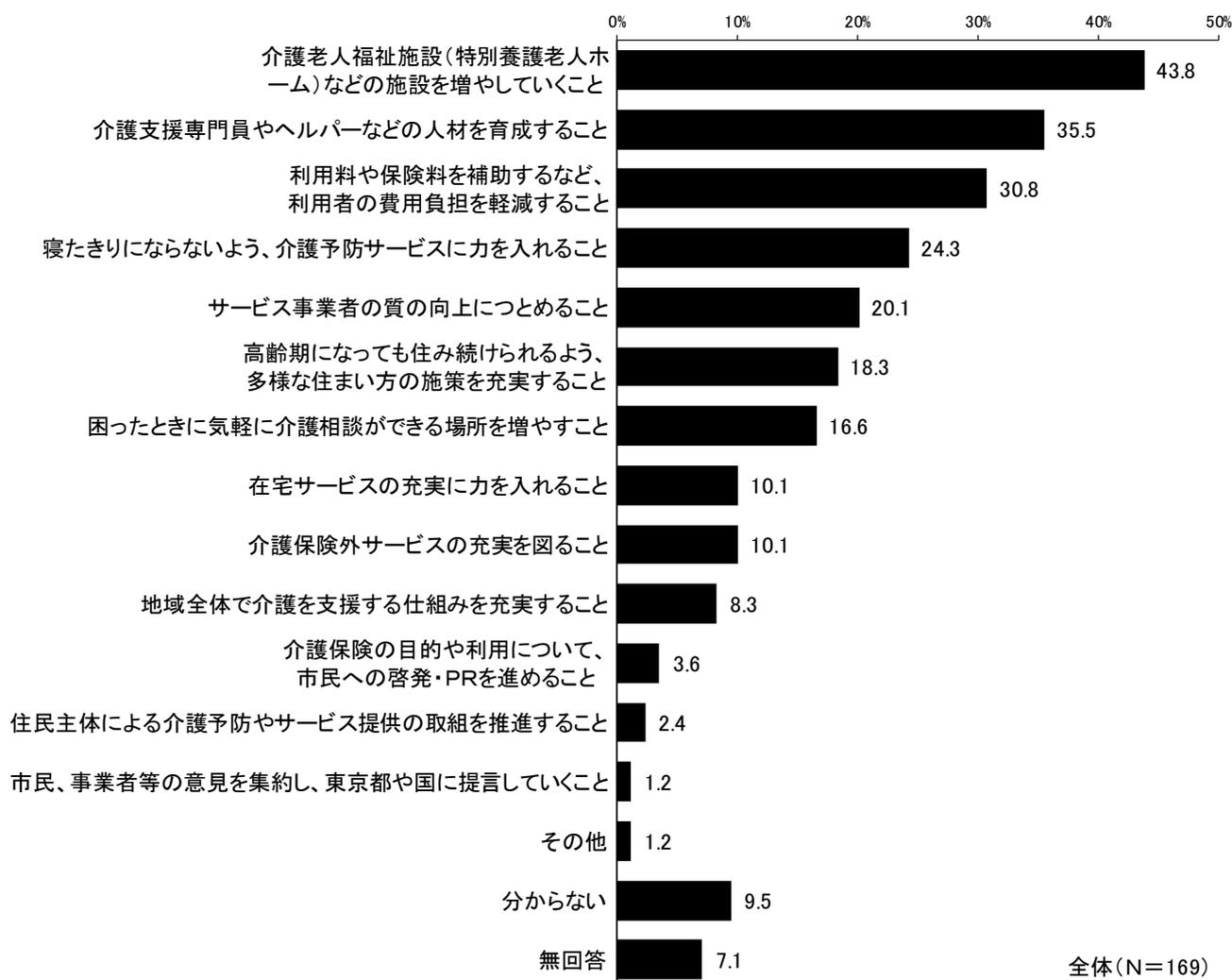
なお、「知っている」と回答した人が挙げた具体的な相談先は、「市役所」「地域包括支援センター」などとなっている。

(4) 介護保険制度について

① 今後地域で暮らしていくために必要だと思うこと（問 20・複数回答（3つまで））

今後地域で暮らしていくために必要だと思うことは、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などの施設を増やしていくこと」（43.8%）が最も多く、「介護支援専門員やヘルパーなどの人材を育成すること」（35.5%）、「利用料や保険料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減すること」（30.8%）、「寝たきりにならないよう、介護予防サービスに力を入れること」（24.3%）と続いている。

今後地域で暮らしていくために必要だと思うこと(問 20・複数回答(3つまで))



②西東京市の介護保険制度についての意見・要望（問21・自由記入）

西東京市の介護保険制度について、自由記入により意見・要望を伺った。主な内容は以下のとおりである。

□制度やサービスについて

- ・介護保険制度がとても分かりにくい。高齢者の年金で入所できる施設が少なく、家族の負担ばかり増え、低収入な若年層には未来が全く見えない構造になっている。
- ・他の市町村と連携ができれば、もっと良い介護保険制度になるような気がする。
- ・在宅介護の人が入浴できる施設がほしい。介護度により自宅での入浴ができず、デイサービス以外でも利用できればと思う。
- ・市の健康診断のお知らせで“年に一度は脳ドック”等の啓発を行ってほしい。認知症かとも思っても本人の抵抗が大きく、なかなか受診につながらない。

□施設について

- ・西東京市はとても福祉が充実していると思う。ホームもとても清潔で明るく気持ちがいい。

□介護職員、人材について

- ・とにかくスタッフが足りない。給与が少なく定着が難しい。これから増々必要とする人が増えるのに、限られた税収で市はどのように対応していくのか、具体的に知りたい。
- ・介護職員の確保、育成（養成学校の設立など）。介護職員の人件費の補助。
- ・デイサービスはたくさんあるが職員が足りていない。昔は一人ひとりの個性を大切に接していたが、今は、人手不足で無理がある。
- ・職員に正しい教育をするより、いかに臨機応変に対応できるかの経験を積んでほしい。それには介護の仕事に生きがい、やりがいを持って長く続けていただきたい。介護職に適しているか、いないか、上司の見極めもしっかりしていただきたい。

□要介護認定について

- ・認知症の方の介護度を簡単に判定されると家族にとっては先が見えなく辛いものになる。例えば徘徊や、相槌を打つ（返事する）が頭（脳）に残っていないなどもある。認知と共にアルコール依存症、自己中心となり、大声で怒鳴る、失禁等様々な問題が山積する。つまり患者を1～2時間程度の調査あるいは一面だけで判断できるものではない。高齢者を家族（特に配偶者が主となる）で見るにはいずれ限界がくる。困った時すぐ施設入所が無理かと思うと不安。

□家族支援について

- ・介護サービスでできないことが多く、訪問介護に片寄ってしまうか、家族が対応しなくてはならない。在宅で介護を進めていくには、もっとヘルパーさんのできることが増えて家族も自分の仕事や人生を送れるようにならなくてはいけないと思う。